

第五次苫小牧市生涯学習推進基本計画の検証結果について

【自己評価判断基準】(A) 達成している (B) 概ね達成している (C) 達成不十分 (D) 事業の見直しを要する (E) コロナのため事業規模縮小 (F) コロナのため事業中止 (教育委員会生涯学習課作成)

| 推進の重点 | 推進の方向 | 施策の展開 | 具体的な施策 | 実施事業（関連事業） ※令和2年度事業の評価 | 所管課 | 自己評価 | 社会教育委員評価 |
|------------------------|--------------------|---------------------------------|---|---|-------------------|--|--|
| 自ら意欲的に学び、郷土を愛し創造する人づくり | ライフステージに応じた学ぶ機会の充実 | 1 子どもの健やかな発達や学びの支援 | 家庭の教育力の向上のための相談体制や学習機会の充実 | 赤ちゃんとお楽しみ絵本広場（読み聞かせ会） | 中央図書館 | E | 1. 継続 8人 2. 強化 1人 3. 弱体化 0人 ・家庭教育に関する相談は今後益々増えていくことが予想されます。個別の相談対応により不安を解消できるようお願いします。 ・絵本ひろばについてはコロナで開催できなかったことは残念です。継続を求めます。子ども向けの学習講座 実績についての詳細はわかりませんが継続して是非実績を積み重ねて欲しい。 ・各相談内容で特に多いものは数点ホームページや冊子に紹介できないか。 ・現状を把握していないが、「家庭教育に関する相談」や「子ども発達相談」は関係部署、関係機関との連携を意識してほしい。 |
| | | | | 家庭教育に関する個別相談・電話相談 | 青少年課 | A | |
| | | | | 子ども発達相談（障がいや発達に係る相談事業） | 発達支援課 | A | |
| | | | | 子育て支援センター、子育てルーム、保育園で電話などによる育児相談 市役所、子育て支援センターでの子ども・子育てナビを開設し、子育ての総合相談を実施 | こども育成課 | A | |
| | | 2 乳幼児期から学びに親しみ0歳から学ぶ環境づくり | 保育園での食育事業、出前講座（幼児期の食育）の実施 | こども育成課 | A | 1. 継続 9人 2. 強化 0人 3. 弱体化 0人 ・赤ちゃんの健康のためにも今後継続をお願いします。 | |
| | | | | 赤ちゃんと、絵本のとびら事業 赤ちゃんが生まれた家庭に絵本を贈り、絵本に親しみきっかけづくりを目的とする。 | 生涯学習課 | | A |
| | | 3 学校・家庭・地域が一体となった子どもの読書活動の普及・啓発 | 学校図書館部会とのコンクール事業共催（読書感想文、読書感想画） スクールメール便「ブックちゃん」事業による団体貸出 学校図書館関係者（教師・学校司書・ボランティア）向け研修会の実施 「苫小牧子どものための選定図書」の選定協力 絵本原画展／児童文学講演会の実施 読書手帳「ぶっくのーと」の配布とスタンブラリーの実施 | 中央図書館 | E | 1. 継続 8人 2. 強化 1人 3. 弱体化 0人 ・コロナ禍により実施できない事業はやむを得ませんが、子どもが読書に親しめる環境づくりにご尽力いただきたい。 ・コロナ禍での事業が縮小されているが、早く平常に戻るよう期待します。コロナのために事業ができないのであればその評価は難しい。 | |
| | | | | 子ども読書推進会議の開催、赤ちゃん絵本のとびら事業 | 生涯学習課 | | E |
| | | | | 主に土曜日・長期休業日に読書時間の設定 | 青少年課 | | A |
| | | | | 図書コーナーにおける児童向け図書の充実及び「公民館まつり」で図書館巡回バスの来館 | 勇弘公民館 | | E |
| | | | | 就学前児童対象「読み聞かせ」、小学生対象「司書体験」、幼児から小学生対象「子ども読み聞かせ」、子ども読み聞かせボランティアの支援実施（コミセンの図書コーナーでの実施） | 市民生活課 | | E |
| | | 4 青少年の豊かな心を育む | 一日司書体験事業、職業体験の受入 | 中央図書館 | A | 1. 継続 7人 2. 強化 2人 3. 弱体化 0人 ・コロナ禍のため実現できないのは仕方ないと思います。 ・1日司書体験、この内容でなぜAなのか？ ・キッズタウン、子ども達が楽しみにしている事業なので今年はぜひ行ってください。 ・インターンシップは今後は非コロナが落ち着く環境になったら事業を進めて欲しい。 ・司書体験・職業体験は複数の高校からも受け入れられるように工夫できないか。 ・キッズタウン（メニュー）、高校生インターン（受入先）の増大 | |
| | | | | キッズタウン 小学校3、4年生を対象に、疑似通貨ショップを使用し、就労と対価の価値観を体験し、働く素晴らしさを感じてもらう事業 | 青少年課 | | F |
| | | | | 職場体験の受入、学芸員実習の受入 | 美術博物館 | | E |
| | | | | 高校生インターンシップの受入 | 美術博物館 文化交流センター | | F |
| | | | | 自習スペース設置・各コミセンの自主事業で中高生ボランティアの受け入れ | 市民生活課 | | E |

第五次苫小牧市生涯学習推進基本計画の検証結果について

【自己評価判断基準】(A) 達成している (B) 概ね達成している (C) 達成不十分 (D) 事業の見直しを要する (E) コロナのため事業規模縮小 (F) コロナのため事業中止 (教育委員会生涯学習課作成)

| 推進の重点 | 推進の方向 | 施策の展開 | 具体的な施策 | 実施事業（関連事業） ※令和2年度事業の評価 | 所管課 | 自己評価 | 社会教育委員評価 | |
|------------------------|--------------------|------------------|------------------------------|---|-----------|------|-----------------------------------|---|
| 自ら意欲的に学び、郷土を愛し創造する人づくり | ライフステージに応じた学ぶ機会の充実 | 青少年の豊かな心を育む学びの支援 | 5 青少年活動のリーダー養成、団体活動、異年齢交流の促進 | こども議会 こども研修・サマーキャンプ・ウィンターキャンプ | 青少年課 | A・F | 1. 継続 8人 2. 強化 1人 3. 弱体化 0人 | ・コロナ禍のため実現できないのは仕方ないと思います。 ・今回のボランティアスクール事業は総合福祉課での事業とどのように違うのか。 |
| | | | | 青少年活動のリーダー養成「高専サイエンス教室」 異年齢交流の促進・「放課後☆くらぶ」 など | 市民生活課 | E | | |
| | | | | ボランティア指導員による作品展の実施 | 科学センター | E | | |
| | | | | ボランティアスクール事業 小中高校生に分かれて、実際に介護施設を訪問し、介護体験や入所者とふれあいの場を持つ交流を行う。 | 青少年課 | F | | |
| | | | 6 青少年のボランティア育成と地域活動への参加促進 | ボランティア養成講座の開催、個人ボランティアの受入 | 中央図書館 | A | 1. 継続 4人 2. 強化 0人 3. 弱体化 3人 | ・取り組み可能な事業については継続をお願いしたい。 ・つみきの会を今後どうするのか方針を示してください。 ・つみきの会は一応の役割を終えたのではないかと。違った形でボランティア活動を期待したい。 ・学校のボランティアが成長しているのでつみきの会の役割は終了したと判断して良いのではないだろうか。 ・つみきの会を継続するならば他の課ですでに実施している高校生向けボランティア活動での交流の場を設けてはどうか（仕切り直し） ・つみきの会支援に代わる取組みを期待 ボランティア部のある高校への支援などで社協ボランティアセンターとの連携も。 |
| | | | | つみきの会（高校生ボランティア）の支援 | 青少年課 | D | | |
| | | | | コミセンで実施する放課後★くらぶ(寺子屋) 子どもの読み聞かせボランティアサークルの継続支援 「子どもサイエンス教室」の高専サイエンス部との連携 南高校ボランティア局の地域貢献事業の支援 和光中クリエイティブ部、美術部、特別支援学級のコミセン作品展連携 高専留学生の地域貢献活動の支援 | 市民生活課 | E | | |
| | | | | 子どものための行事案内の発行（毎月） アウトリーチ推進事業（令和2年度のアウトリーチ数は24団体28事業（絵手紙、陶芸、書道、ダンス等）を実施） 学社連携実践事例集の発行（隔年） 学校に配布 | 生涯学習課 | A | | |
| | | | 7 出前講座、体験活動による学校教育の支援 | ①調べ学習の児童向け講習会 ②スクールメール便「ブックちゃん」事業によるテーマ別に本の貸出 ③学校へのスタッフ派遣事業読書サポート「まなぶくん」の実施 | 中央図書館 | E | 1. 継続 7人 2. 強化 2人 3. 弱体化 0人 | ・アウトリーチ推進事業は本物の芸術に触れるよい機会となっており、講座内容の充実をお願いしたい。またどんなニーズがあるかをリサーチすると、この事業が持続可能なものになっていくと思われる。 ・「出前講座」のレシビを毎年新しい内容を1つ加えたい。 |
| | | | | 「障がいスポーツ」などの福祉教育に関する出前講座 | スポーツ都市推進課 | E | | |
| | | | | 小学校5年生を対象にした「科学センター学習」の実施 学校などの団体等への出前講座（移動科学センター）の実施 | 科学センター | B | | |
| | | | | 美術博物館郷土学習、美術博物館での総合的な学習の時間、学芸員の派遣、資料の貸出 | 美術博物館 | E | | |
| | | | | コミセンでの自主事業（図書室司書体験等）での支援 調べ学習の支援（小学生が公共施設のことを電話で聞き取ったことをパンフレットにし窓口で配布を行う。） | 市民生活課 | A | | |

第五次苫小牧市生涯学習推進基本計画の検証結果について

【自己評価判断基準】(A) 達成している (B) 概ね達成している (C) 達成不十分 (D) 事業の見直しを要する (E) コロナのため事業規模縮小 (F) コロナのため事業中止 (教育委員会生涯学習課作成)

| 推進の重点 | 推進の方向 | 施策の展開 | 具体的な施策 | 実施事業（関連事業） ※令和2年度事業の評価 | 所管課 | 自己評価 | 社会教育委員評価 |
|--|--------------------|------------------------------|---------------------------------------|--|--------------|------|---------------------------------|
| 自ら意欲的に学び、郷土を愛し創造する人づくり | ライフステージに応じた学ぶ機会の充実 | 青少年の豊かな心を育む学びの支援 | 8 放課後や休日における学習機会の充実に向けた公共施設の積極的な活用 | 子どものための行事案内の発行（毎月） 市内社会教育施設のほか、各小中学校、保育園、幼稚園など配布したほかホームページに掲載 | 生涯学習課 | A・F | 1. 継続 8人 2. 強化 1人 3. 弱 0人 |
| | | | | 青少年ミュージックキャンプ（小中高生が参加し演奏する）・札幌親子しおさいコンサート（小中学生と保護者が鑑賞）の開催 | | | |
| | | | | おもしろ実験教室の開催（公民館まつり） | 勇弘公民館 | F | |
| | | | | 施設見学の受入 図書館報/HP/ブログ等を用いた情報発信 | 中央図書館 | A | |
| | | | | 「科学ふれあい教室」「工作教室」「こどもの日工作教室」「文化の日工作教室」「電子工作教室」「こども環境工作教室」「プレスツール工作体験」「プログラミング教室」の実施 | 科学センター | E | |
| | | | | ミュージアムラボ（美術博物館と協働して多様な芸術文化に親しむ方法を考えること） 無料観覧 | 美術博物館 | E | |
| | | | | 子ども体験教室（前期・後期） お茶、習字、いけばな、将棋、ZUNBA企画（世界中の音楽を楽しみながら踊る） | 文化交流センター | E | |
| | | | | 自主事業にて放課後や休日の学習機会を提供（昔遊び・体力づくり・工作教室・料理教室・囲碁教室・ほか） かごクラブ）・高校生の自習スペースの設置・長期休みの小学生向け講座の開催 | 市民生活課 | E | |
| | | 9 ライフスタイルや社会のニーズに合った講座の充実 | ライスタイルや社会のニーズに合った講座の充実 | 図書館文化セミナーの実施 令和2年は「浦島伝説 その魅惑の世界を語る」「海外の図書館事情」「むかむか電を学ぼう」「自動車図書館」を実施 | 中央図書館 | A | 1. 継続 6人 2. 強化 3人 3. 弱 0人 |
| | | | | 保健センターの各種健康教室（健康づくり教室、運動教室、栄養教室、健康・栄養相談など）の実施 | 健康支援課 | A | |
| | | | | 子育て支援センター、子育てルームで子育て支援講座の開催（離乳食講座、育児講座など） | こども育成課 | B | |
| | | | | 料理講座・体操講座の実施 | 勇弘公民館 | E | |
| | | | | 男女平等参画推進に関連した講座など幅広い分野の講座や女性活躍促進に関する事業を実施 生涯学習講座や男女平等参画推進を目指した各種講座（地域防災、妊産婦向け体と心のセルフケア、子育て、健康（指ヨガ、薬の知識）、LGBT、美文字、親子料理教室、食育、ITリテラシー、講師デビュー、新しい働き方、女性の起業、シナプソロジー等）の開催 女性活躍促進に関する事業、講座の実施。男女平等参画を目的とした啓発事業・サークル活動・交流事業・相談事業・情報収集と提供等の実施。女性の人権講演会の開催 | 男女平等参画推進センター | A | |
| | | | | 美術博物館大学講座、ミュージアムラボ、出前講座・学芸員の派遣、資料の貸出 | 美術博物館 | E | |
| とまこまい市民カレッジ、自主事業の実施 | 文化交流センター | E | | | | | |
| 生涯学習講座（年2回）、自主事業（夜間の講座開講・対象者の多様化・認知症サポーター養成講座と徘徊模擬訓練・若年認知症講座・防災講座）、自主事業「ふれあい囲碁教室」、まちづくり講座、SDGs全般に関連する講座の開催 | 市民生活課 | A | | | | | |

・コロナ禍によりやむを得ないと思われる。

・市民のニーズに合わせた事業が展開されていると思われます。今後もさらに取組強化を期待したい。
・オンラインセミナーは良いことですが、人数制限した分、対面とオンラインとを合わせて実施してはどうか（ハイブリッド型）

第五次苫小牧市生涯学習推進基本計画の検証結果について

【自己評価判断基準】(A) 達成している (B) 概ね達成している (C) 達成不十分 (D) 事業の見直しを要する (E) コロナのため事業規模縮小 (F) コロナのため事業中止 (教育委員会生涯学習課作成)

| 推進の重点 | 推進の方向 | 施策の展開 | 具体的な施策 | 実施事業（関連事業） ※令和2年度事業の評価 | 所管課 | 自己評価 | 社会教育委員評価 |
|------------------------|-------------------------------|--|-------------------------------|--|---|------|---|
| 自ら意欲的に学び、郷土を愛し創造する人づくり | ライフステージに応じた学ぶ機会の充実 | 10 青少年の豊かな心を育む学 | 男女平等参画や女性の活躍推進に関する学習機会の充実 | 男女平等参画に関する研修会等派遣事業 | 協働・男女平等参画室 | F | 1. 継続 8人 2. 強化 1人 3. 弱体化 0人 ・継続をお願いしたい。 ・研修会派遣について、オンラインプログラムもあったはずだが、対面参加でなければならぬ理由があったのか？ オンライン環境を市の会議室等に設置して、市民に参加してもらうこともできたはずと思う。 ・日本全体として現状の改善がいぜんとして見られないため |
| | | | | 市民団体と連携した男女平等参画啓発推進講演会の開催。男女平等参画推進講座（子育て、健康、LGBT基礎、地域防災等）の実施。男女平等参画を目的とした啓発事業・サークル活動・交流事業・相談事業・情報収集と提供等の実施 | 男女平等参画推進センター | A | |
| | | | | 就労支援施設通所者の体験活動受入 まちづくり講座内でSDGs「5ジェンダー平等を実現しよう」に関する講義実施 | 市民生活課 | A | |
| | | 11 | スキルアップや転職、学びなおしの学習機会の提供 | ビジネスコーナーの設置 | 中央図書館 | A | 1. 継続 7人 2. 強化 1人 3. 弱体化 1人 ・ナナカマド教室のPR継続をお願いしたい。 ・ナナカマド教室のさらなる強化と参加への工夫をして欲しい。 ・若者は学び直しをオンラインでやっていると思う。 |
| | | | | ナナカマド教室（昼の部・夜の部）開催 （学び直しの機会として学習の場を提供） | 生涯学習課 | B | |
| | | | | 苫小牧市立病院、王子総合病院共催の医療情報講演会、講座、特設展示の実施 | 中央図書館 | F | |
| | | 12 | 長生大学の充実、健康や生きがいを考える学習機会の充実と支援 | 書道教室など14教室、料理教室など4講座 | 高齢者福祉センター | B | 1. 継続 8人 2. 強化 0人 3. 弱体化 0人 ・コロナ対策を講じながら実施されているのは素晴らしいと思います。 |
| | | | | 高齢者主張発表会、長生大学内での交流行事等の実施 | 文化交流センター | A | |
| | | | | 生涯学習講座の開催・シニア一般健康相談・自主事業（ふまねつ）の実施 自主事業で「介護予防教室」「まちづくり講座」の開催 ・休館中おうち時間の活用ヒント掲載したコミセンだよりを発行 ・自主事業にてWEB講座を実施 | 市民生活課 | A | |
| | | 13 | 高度化・多様化したニーズに応じた学習の充実 | 美術博物館大学講座、出前講座・学芸員の派遣、資料の貸出、ミュージアムラボの開催 | 美術博物館 | E | 1. 継続 6人 2. 強化 2人 3. 弱体化 0人 ・現状を考えるとやむを得ないと思われます。 ・中央図書館なども事業主体となり得ないでしょうか。 ・対面とオンラインとを合わせて実施してはどうか（ハイブリッド型）。また、美術博物館だけでなく他の課でも取組んで欲しい。 |
| | | | | ナナカマド教室 （学び直しの機会として学習の場を提供） | 生涯学習課 | A | |
| | | | | 図書館文化セミナーの実施 | 中央図書館 | A | |
| | | 14 | 長寿社会に向けた学びなおしや再チャレンジの充実・支援 | 駒澤大学（現北洋大学）連携講座、長生大学市民公開講座 | 文化交流センター | A | 1. 継続 6人 2. 強化 3人 3. 弱体化 0人 ・好評な事業はさらに工夫をしながら展開していただきたい。 ・対面とオンラインとを合わせて実施してはどうか（ハイブリッド型）。 |
| | | | | ・自主事業（地域の発表の場） ・生涯学習講座の開催（前期～13講座 後期～75講座） ・まちづくりサポーター養成講座の開催 | 市民生活課 | E | |
| | | | | 障がい者パソコン教室（視覚障がい・肢体障がい各15回） | 生涯学習課 | A | |
| 15 | 社会で能力を発揮できる知識・技能を育成する学習の充実と支援 | 聴覚障がい者の福祉向上、福祉の担い手の育成のための手話講習会 | 障がい福祉課 | E | 1. 継続 8人 2. 強化 1人 3. 弱体化 0人 ・可能であればニーズに対応してさらなる内容の充実をお願いしたい。 | | |
| | | 放課後☆くらぶ内でプログラミング教室（障がいがあっても将来活躍できる選択肢を増やすためコミセン職員が実施）などの自主事業 | 市民生活課 | A | | | |

第五次苫小牧市生涯学習推進基本計画の検証結果について

【自己評価判断基準】(A) 達成している (B) 概ね達成している (C) 達成不十分 (D) 事業の見直しを要する (E) コロナのため事業規模縮小 (F) コロナのため事業中止 (教育委員会生涯学習課作成)

| 推進の重点 | 推進の方向 | 施策の展開 | 具体的な施策 | 実施事業（関連事業） ※令和2年度事業の評価 | 所管課 | 自己評価 | 社会教育委員評価 | |
|------------------------|--------------------|-----------------|-------------------------------------|--|--------------|------|-----------------------------------|---|
| 自ら意欲的に学び、郷土を愛し創造する人づくり | ライフステージに応じた学ぶ機会の充実 | すべての世代に対する学びの支援 | 16 心豊かな生活の充実につながる学習機会・交流の場の充実 | ・バリアフリー映画会、サビエ（視覚障がい者等に点字・録音図書データの提供サービス）の加入 ・視覚障がい者向けサービスの提供（対面朗読／点字・録音図書等） ・読み上げ機能付き電子図書の整備・文字拡大機能の活用 | 中央図書館 | A | 1. 継続 8人 2. 強化 1人 3. 弱体化 0人 | ・コロナが収束後は制限を解除して従来の実施を目指していただきたい。 ・健常者が障がい者の立場や思いを知る機会を増やせませんか。 |
| | | | | 各種体験教室、特別展・企画展の実施、解説会 | 美術博物館 | A | | |
| | | | | 自主事業（放課後☆くらぶ・うたごえ喫茶）、手話講座の実施 まちづくり講座内で放課後等デイサービスの活動を紹介 | 市民生活課 | E | | |
| | | | | 障がい者スポーツ普及のためスポーツレクリエーション教室の開催 | スポーツ都市推進課 | E | | |
| | | | | 障がい者文化教室（西洋陶芸・カラオケ・健康麻雀 各7回） | 生涯学習課 | E | | |
| | | | | あいさポーター研修（障がいのある方へのちょっとした手助けや配慮を実践する取組） | 障がい福祉課 | E | | |
| | | | 17 すべての世代に共通する今日的課題に関する各種学習機会の提供 | ナナカマド教室、苫小牧市民塾の開催 | 生涯学習課 | A | 1. 継続 7人 2. 強化 2人 3. 弱体化 0人 | ・ほとんどの事業でA評価となっている。さらなる強化をお願いしたい。 ・オンラインセミナーは良いことですが人数制限した分、対面とオンラインを合わせて実施してはどうか（ハイブリッド型） |
| | | | | 図書館文化セミナーの実施 | 中央図書館 | A | | |
| | | | | 巡回展「こちら「はやぶさ2」運用室 漫画版」の実施（小惑星探査機「はやぶさ2」のミッションを漫画で紹介） | 科学センター | A | | |
| | | | | 男女平等参画推進講座・講演会（ワークライフバランス、健康、地域防災、人材育成、女性の就業、DV防止等）の実施 | 男女平等参画推進センター | A | | |
| | | | | 出前講座などへの学芸員の派遣 | 美術博物館 | A | | |
| | | | | ・生涯学習講座 地域課題を取り入れたまちづくり講座の開講 ・自主事業 SDGs学習会「フェアトレードについて学ぼう」開催 ・自主事業 大量生産、大量消費、に係る映画「ザ・トゥルーコスト」上映会実施 ・自主事業 親子向け「学ぼう、遊ぼうリサイクル」開催 ・ロビー展示 SDGsを紹介するコーナー | 市民生活課 | E | | |

第五次苫小牧市生涯学習推進基本計画の検証結果について

【自己評価判断基準】(A) 達成している (B) 概ね達成している (C) 達成不十分 (D) 事業の見直しを要する (E) コロナのため事業規模縮小 (F) コロナのため事業中止 (教育委員会生涯学習課作成)

| 推進の重点 | 推進の方向 | 施策の展開 | 具体的な施策 | 実施事業（関連事業） ※令和2年度事業の評価 | 所管課 | 自己評価 | 社会教育委員評価 |
|---|--------------------|-----------------|-------------------------------------|--|------------|--------|---|
| 自ら意欲的に学び、郷土を愛し創造する人づくり | ライフステージに応じた学ぶ機会の充実 | すべての世代に対する学びの支援 | 18 参加しやすい時間・場所、ニーズに応えた講座・教室や出前講座の充実 | 出前講座（市民や団体が主催する学習会へ市職員を講師として派遣し、市政に関する理解を深めてもらう）の推進 アウトリーチ推進事業（保育園、小中学校等へ出向いてダンス、合唱、陶芸、書道等の指導を実施） | 生涯学習課 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・E評価がついているものでリモートで実施できるものがあれば実施方法を変える等の柔軟性をもってやってみてはどうでしょうか。 ・アウトリーチに子育てサークルも加えこの今後の取り組みに期待したい。 ・オンラインセミナーは良いことですが人数制限した分、対面とオンラインを合わせて実施してはどうか（ハイブリッド型）。 |
| | | | | スポーツ施設の各種スポーツ教室・講座 | スポーツ都市推進課 | E | |
| | | | | 国際分野における理解の促進や人材育成に係る各種講座の開催 国際理解講座、国際交流に係る出前講座 | 国際リゾート戦略室 | E A | |
| | | | | 「子どもの発達理解と支援」をテーマにした出前講座の実施 | 発達支援課 | A | |
| | | | | 市民健康教室、出前講座、パパママ教室、赤ちゃん教室、おとうさんといっしょ！、親子デンタル教室、産後ケア事業、Mom's サロン Oasisの開催 | 健康支援課 | A | |
| | | | | 出前講座「移動科学センター」「移動天文教室」等の実施 | 科学センター | B | |
| | | | | 美術博物館大学講座、出前講座・学芸員の派遣 | 美術博物館 | E | |
| | | | | とまこまい市民カレッジ、自主事業の実施（フオークダンス、麻雀） | 文化交流センター | E | |
| | | | | 生涯学習講座の開催（年2回）・自主事業（防災講座）の開催 | 市民生活課 | A | |
| | | | | 専門の講師と連携した「デートDV防止出前授業」、町内会等における男女平等参画についての出前講座の実施 | 協働・男女平等参画室 | A | |
| 各種男女平等参画推進講座（性別・年齢・開催時間など幅広くニーズに答えた内容）の実施 | 男女平等参画推進センター | A | | | | | |

1. 継続 7人
2. 強化 2人
3. 弱体化 0人

第五次苫小牧市生涯学習推進基本計画の検証結果について

【自己評価判断基準】(A) 達成している (B) 概ね達成している (C) 達成不十分 (D) 事業の見直しを要する (E) コロナのため事業規模縮小 (F) コロナのため事業中止 (教育委員会生涯学習課作成)

| 推進の重点 | 推進の方向 | 施策の展開 | 具体的な施策 | 実施事業（関連事業） ※令和2年度事業の評価 | 所管課 | 自己評価 | 社会教育委員評価 | |
|---|----------------------|--------------|-----------------------------------|--|--------------|------|---|--|
| 人・郷土を愛し、創造性を育む、 | じょうライフスタイルを積極的に創造する、 | 学代すびの対する世 | 19 郷土愛や地域課題解決の機運を醸成する苫小牧を学ぶ講座の充実 | 文化財発見ツアーの開催（文化財への興味や理解を深め、郷土愛の意識を高める目的で、市内外にある、国・道・市指定の文化財やその他貴重な文化財を巡るバスツアーを実施） | 生涯学習課 | A | ・E評価がついているものでリモートで実施できるものがあれば実施方法を変える等の柔軟性をもってやってみてはどうか。 ・市民の関心が薄いと感じる。マニアにとどまらずに広い啓発を。 ・近・現代も含めて地域の歴史を知る機会の充実に希望します。 | |
| | | | | 自然観察会など苫小牧の歴史や自然等を学ぶ講座の実施 | 美術博物館 | E | | |
| 相互に理解し支え合い、自己の力を発揮できるつながりづくり | 学んだ経験や成果を生かす活動の奨励と推進 | 学習成果の発表機会の充実 | 20 地域づくりや学習意欲の向上につながる発表機会の充実 | 市民文化祭、苫小牧アートフェスティバル（文化団体やアーティストバンク登録者などの発表機会を支援）、青少年ミュージックキャンプ（一流の講師の指導により音楽の向上と交流を深め感性を育てる）などの発表機会の拡充 | 生涯学習課 | E・F | ・F評価がついている事業の中であまりニーズがないものは削減してはどうでしょうか。 ・コロナ対策の為中止でコメントのしようがないので現状維持で継続して欲しい。 | |
| | | | | 活動団体による活動成果発表機会（パネル展等）の提供 | 中央図書館 | F | | |
| | | | | 公民館まつり実行委員会を組織し、学習成果の発表と検証 | 勇払公民館 | F | | |
| | | | | センター祭、ふくろう演芸会（カラオケ・踊り等各教室の披露）の開催 | 高齢者福祉センター | F | | |
| | | | | 登録サークルによる作品や学習成果の発表（センター祭） | 男女平等参画推進センター | E | | |
| | | | | 苫教研と連携し社会科自由研究発表会を実施 | 美術博物館 | F | | |
| | | | | アイビーサークルまつり、アイビークリスマスパティー、運営協議会 | 文化交流センター | E | | |
| | | | | コミセンまつり・作品の館内展示の開催 | 市民生活課 | E | | |
| | | | 21 市民・団体などの自主企画の講座・発表への支援 | 市民有志による団体共催事業の実施（絵本作家講演会） | 中央図書館 | A | | ・自主企画を行う団体への助成支援は今後もぜひ継続していただきたい。 ・コロナ感染を取りながら現状維持で、継続して欲しいものです。 ・他の項目と共通していることだが、今後各施設にて「zoom」「You Tube」で講座を配信できる機材を設置してはどうか。 |
| | | | | 市民文化芸術振興助成事業（広く市民を対象として催され、文化芸術振興に著しく寄与すると認められる事業等への助成） | 生涯学習課 | A | | |
| | | | | 公民館まつり（作品展、作品販売、体験講座、実演会の支援） | 勇払公民館 | F | | |
| | | | | ボランティア指導員による作品展（五月人形、ひな人形）、幼児向け番組投影の実施 | 科学センター | E | | |
| | | | | ミニコンサートの開催（H30書道パフォーマンス、R1バトンパフォーマンス） | 文化交流センター | F | | |
| | | | | コミセンまつりでの作品の発表、生涯学習講座からサークルとして継続できる環境を支援、発表会、作品の館内展示、近隣学校の部活動単位での発表の場の提供、コレクション・得意を活かしたサロン事業の開催 | 市民生活課 | A | | |
| 各種学習の相談・支援（随時対応） | 美術博物館 | A | 1. 継続 8人 2. 強化 1人 3. 弱体化 0人 | | | | | |
| プチギャラリー（エレベーターホールを活用）し、個人・サークルの発表や起業を目指す方を支援する場として提供（フライヤー設置、ポスター掲示等） | 男女平等参画推進センター | A | | | | | | |
| 女性団体等の学習活動援助事業（経費の補助） | 男女平等参画推進センター | A | | | | | | |
| | | | | | | | | |

第五次苫小牧市生涯学習推進基本計画の検証結果について

【自己評価判断基準】(A) 達成している (B) 概ね達成している (C) 達成不十分 (D) 事業の見直しを要する (E) コロナのため事業規模縮小 (F) コロナのため事業中止 (教育委員会生涯学習課作成)

| 推進の重点 | 推進の方向 | 施策の展開 | 具体的な施策 | 実施事業（関連事業） ※令和2年度事業の評価 | 所管課 | 自己評価 | 社会教育委員評価 | | |
|------------------------------|----------------------------------|---|--|---|---|---|-----------------------------------|-----------------------------------|--|
| 相互に理解し支え合い、自己の力を発揮できるつながりづくり | 学んだ経験や成果を生かす活動の奨励と推進 | 学習成果の発表機会の充実 | 22 | 地域の人材発掘と人と人のつながりを醸成する場の充実 | ・アーティストバンク、サークルガイド、生涯学習だよりでの人材発掘、情報提供によるつながりづくりの支援 ・新成人との協働による成人式の開催 女性人材バンク登録者の募集及び活用の周知（女性人材バンクチラシの作成及び配布、市公式ホームページ、フェイスブックでの周知、庁内インフォメーションでの活用周知、損保ジャパン従業員へ出前講座を通しての周知を実施） | 生涯学習課 | A | 1. 継続 7人 2. 強化 2人 3. 弱体化 0人 | ・地域とのつながりを大切にしながら今後も継続をお願いしたい。 ・人材バンクの掘り起こし もう一度練り直し工夫を。 ・実施した結果、人材発掘はどうであったか。 |
| | | | | 自主事業、生涯学習講座、まちづくり講座などでの講師の発掘と町内会や学校機関との連携 | 市民生活課 | A | | | |
| | 23 | 公共施設を活用した交流の場の充実 | 各公共施設での事業の開催による交流の場の創出、交流の場の提供（長生大学生による交流、市民文化祭のコロナ作品展など） | 各課・施設 | E・F | 1. 継続 9人 2. 強化 0人 3. 弱体化 0人 | ・やむを得ない状況である。 | | |
| | 人材を生かす場とセカンドライフ世代の活躍機会の充実 | 24 | 豊富な経験・知識・技能を持つセカンドライフ世代の活躍機会の充実 | ボランティア養成講座の実施、個人・団体ボランティアの受入 | 中央図書館 | A | 1. 継続 8人 2. 強化 1人 3. 弱体化 0人 | ・介護支援は今後も求められる事業であるとする。 | |
| | | | | 介護支援いきいきポイント事業（予め登録された受入施設や利用者の自宅にボランティア活動として参加し、この活動実績に応じてポイントを付与） | 介護福祉課 | A | | | |
| | | | | 長生大学の開校（市内在住で60歳以上の方対象） | 文化交流センター | E | | | |
| | | | | 事業支援のボランティアとして参加促進（読み聞かせボランティアなど）、まちづくり講座の開講、コレクション・得意を活かしたサロン事業の開催 | 市民生活課 | E | | | |
| | 25 | 世代間交流の促進による地域のつながりづくりの取り組み強化 | 自主事業(放課後☆らぶ・小学生学習サポート・読み聞かせ等、ボランティア活動の受け入れ、多世代交流会昔遊びの場・節分行事・七夕・クリスマス行事)の実施 | 市民生活課 | A | 1. 継続 8人 2. 強化 0人 3. 弱体化 0人 | ・A、B評価のついている事業は工夫が感じられる。 | | |
| | | | 保育園児と高齢者の世代間交流事業、各種地域交流事業の実施 | こども育成課 | B | | | | |
| | | | 長生大学内での世代間交流 | 文化交流センター | F | | | | |
| 教育・福祉センター内での世代間交流 | | | 高齢者福祉センター | E | | | | | |
| 26 | 地域とのつながりを創るコーディネート機能の強化と人材バンクの検討 | ボランティアの受け入れにより支援・高校生の地域活動促進への支援・まちづくりサポーター養成講座の開講 | 市民生活課 | A | 1. 継続 7人 2. 強化 1人 3. 弱体化 0人 | ・この状況でA評価がつかうことはすばらしい。 ・これらが本番ですね。 | | | |
| | | 図書館広報誌による既存ボランティアの活動紹介、ボランティア養成講座の実施、個人・団体ボランティアの活動受入 | 中央図書館 | A | | | | | |
| 27 | ボランティア活動の啓発と参加の機会の充実 | コミセン事業（多世代交流・読み聞かせ・子育て支援）のボランティアの呼びかけ・まちづくりサポーター養成講座の開講 | 市民生活課 | E | 1. 継続 8人 2. 強化 1人 3. 弱体化 0人 | ・ボランティア活動は自己有用感を持てる大切な取り組みであり、今後も継続していただきたい。 ・各施設ごとにボランティア募集するよりも市のホームページのトップに項目を設け、リンクさせるか、内容を表示させるようにはどうか。 | | | |

第五次苫小牧市生涯学習推進基本計画の検証結果について

【自己評価判断基準】(A) 達成している (B) 概ね達成している (C) 達成不十分 (D) 事業の見直しを要する (E) コロナのため事業規模縮小 (F) コロナのため事業中止 (教育委員会生涯学習課作成)

| 推進の重点 | 推進の方向 | 施策の展開 | 具体的な施策 | 実施事業（関連事業） ※令和2年度事業の評価 | 所管課 | 自己評価 | 社会教育委員評価 | |
|---|-------------------------|----------------------|--|---|-----------|-----------------------------------|-----------------------------------|---|
| 相互に理解し支え合い、自己の力を発揮できるつながりづくり | 学んだ経験や成果を生かす | ボランティア活動の啓発と | 28 ボランティア団体活動の支援と協働事業の推進 | パソコンボランティア友の会とのパートナーシップ協定による障がい者パソコン教室 | 生涯学習課 | A | 1. 継続 8人 2. 強化 0人 3. 弱体化 1人 | ・実施が厳しい事業は削減・縮小の方向で考えてはどうか。 |
| | | | | 工作教室（夏休み・冬休み）の指導依頼、プラネタリウム幼児番組の制作協力依頼 | 科学センター | A | | |
| | | | | 共催事業の企画・実施（苫小牧アートフェスティバル実行委員会、子ども文庫連絡会、市立病院、王子総合病院など） | 中央図書館 | F | | |
| | | | | 「美術館友の会」「郷土文化研究会」との共催事業の実施 | 美術博物館 | E | | |
| | | | | コミセン登録サークルとの連携（コミセンまつり・自主事業）、フードバンクとまこまいとの提供品受取場所としての協力、SDGsを意識した関連団体との連携講座や懇談会の実施・苫小牧市関連課との連携講座の実施 | 市民生活課 | E | | |
| | 学習グループや生涯学習関連団体、企業等との連携 | 市民・団体・企業と行政の連携と融合 | 29 各種団体や企業等との共催による講座の充実 | 配布物の相互設置、図書寄贈や雑誌スポンサー制度の運用による企業等の協力 | 中央図書館 | A | 1. 継続 9人 2. 強化 0人 3. 弱体化 0人 | ・しおさいコンサートは楽しみにしている子どもや大人がいます。コロナが収束すればぜひ行っていただきたい。 |
| | | | | ・企業と連携した教育普及事業、展覧会などの実施 ・美術館広報部「びとこま」への協力（小中学生の子供記者が博前arty+, 美術博物館学芸員と共に取材作成する情報誌） | 美術博物館 | A | | |
| | | | | ・企業など人的資源を活用した自主事業の開催 ・自主事業 SDGs（持続可能な開発目標）を意識した関連団体、行政各部との連携講座の実施 | 市民生活課 | E | | |
| | | | | 企業等と連携し、札幌親子しおさいコンサート、アートシアター鑑賞事業、PMF苫小牧公演を開催 | 生涯学習課 | F | | |
| | | | | スポーツ協会との共催による講座・スポーツイベントの開催（とまこまいマラソン等） | スポーツ都市推進課 | F | | |
| ・トヨタ自動車（株）と共催による科学工作教室の開催 ・苫小牧発明研究会、日本無線（株）と共催による電子工作教室の開催 ・うとねっと苫小牧支部と共催による科学実験教室の開催 | 科学センター | E | | | | | | |
| 民間団体、公的機関との連携・共催による講座・講演会の実施 | 男女平等参画推進センター | B | | | | | | |
| 道民カレッジ事務局や北海道生涯学習推進センターとの連携 | 文化交流センター | A | | | | | | |
| パートナーシップ協定締結による事業の推進 | 30 | パートナーシップ協定締結による事業の推進 | パソコンボランティア友の会とパートナーシップ協定による障がい者パソコン教室 | 生涯学習課 | A | 1. 継続 9人 2. 強化 0人 3. 弱体化 0人 | ・感染症対策を行いながら実施されていることを評価したい。 | |
| | | | 鉄道OB会、アマチュア無線団体などとの連携 | 科学センター | E | | | |
| | | | 企業と連携した音楽会の実施（出光コンサート等） | 美術博物館 | F | | | |
| | | | 出前講座による自主事業の開講、コミセンまつりやコンサートでの市民団体や企業による演奏提供 | 市民生活課 | E | | | |

第五次苫小牧市生涯学習推進基本計画の検証結果について

【自己評価判断基準】(A) 達成している (B) 概ね達成している (C) 達成不十分 (D) 事業の見直しを要する (E) コロナのため事業規模縮小 (F) コロナのため事業中止 (教育委員会生涯学習課作成)

| 推進の重点 | 推進の方向 | 施策の展開 | 具体的な施策 | 実施事業（関連事業） ※令和2年度事業の評価 | 所管課 | 自己評価 | 社会教育委員評価 | |
|------------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------------|--|----------------------------|------|-----------------------------------|--|
| 相互に理解し支え合い、自己の力を発揮できるつながりづくり | 学習グループや生涯学習関連団体、企業等との連携 | 合 市民・団体・企業と行政の連携と融 | 31 生涯学習に取り組む市民・団体への支援 | 女性団体連絡協議会、ユネスコ協会、文化団体協議会、勇払千人隊芸能保存会への支援 | 生涯学習課 | A | 1. 継続 9人 2. 強化 0人 3. 弱体化 0人 | ・感染症対策を行いながら実施されていることを評価したい。 |
| | | | | 活動場所の提供、事業相談受入（読み聞かせボランティア団体等） | 中央図書館 | A | | |
| | | | | スポーツ協会、スポーツ推進委員会、中体連、各種スポーツ競技団体への支援 | スポーツ都市推進課 | A | | |
| | | | | 女性団体等の学習活動援助事業の実施、平等社会を推進するネットワーク苫小牧への支援 | 協働・男女平等参画室 男女平等参画推進センター | A | | |
| | | | | 男女平等参画を推進する団体、地域づくりに取り組む団体の活動支援 ・研修室の優先使用許可、利用料免除とする。 ・関係団体への男女平等参画に関する情報の提供 | 男女平等参画推進センター | B | | |
| | | | | ・町内会による文化祭支援・サークル活動参加市民の支援 ・市民活動の支援 | 市民生活課 | A | | |
| | | 協働学習の推進 | 32 生涯学習関連団体間の連携推進に向けた交流機会の充実 | 活動ボランティア団体の意見交換会実施 | 中央図書館 | A | 1. 継続 9人 2. 強化 0人 3. 弱体化 0人 | ・感染状況を見ながら実施の判断をお願いしたい。 |
| | | | | 育児サークル代表者交流会実施 | こども育成課 | B | | |
| | | | | 各サークル代表が協働して「公民館まつり」実施 | 勇払公民館 | F | | |
| | | | | 男女平等参画推進センター祭の実施、登録サークルの相互の交流会の実施 | 男女平等参画推進センター | E | | |
| | | | | アイビーサークルまつり、展示事業（文化祭・クリスマス展等）の実施 | 文化交流センター | E | | |
| | | | | 学習グループの発表と展示・交流の場としてコミセンまつり(作品展)を実施 | 市民生活課 | E | | |
| | | 国際理解・相互理解の推進に向けた取り組みの支援 | 33 | 日本人市民と外国人住民の交流会、ホームステイ事業の実施。交流イベントについては、令和2年度から公共サービス民間提案制度を利用し、運営を委託した。 | 国際リゾート戦略室 | F | 1. 継続 8人 2. 強化 1人 3. 弱体化 0人 | ・交流イベントの復活を願っています。 ・長生大学などとSDGsを絡めて国別に計画を立てて講座を開いていただきたい。 |
| | | | | 長生大学内での国際理解講座 | 文化交流センター | A | | |

第五次苫小牧市生涯学習推進基本計画の検証結果について

【自己評価判断基準】(A) 達成している (B) 概ね達成している (C) 達成不十分 (D) 事業の見直しを要する (E) コロナのため事業規模縮小 (F) コロナのため事業中止 (教育委員会生涯学習課作成)

| 推進の重点 | 推進の方向 | 施策の展開 | 具体的な施策 | 実施事業（関連事業） ※令和2年度事業の評価 | 所管課 | 自己評価 | 社会教育委員評価 | |
|--------------------------------|-------------------------|--|-----------------------------------|---|-----------------------------------|---|-----------------------------------|---|
| 相互に理解し支え合い、自己の力を発揮できるつながりづくり | 学習グループや生涯学習関連団体、企業等との連携 | 協働学習の推進 | 34 各種団体が一同に会することができる講演会の充実と開催への支援 | 市民有志による団体と共催による講演会の開催 | 中央図書館 | A | 1. 継続 8人 2. 強化 0人 3. 弱体化 1人 | ・苫教研の活動については令和3年度において終了している。今後は持続可能な範囲での取組が求められる。 |
| | | | | ・夏休み自由研究（理科展・発明工夫展）の協力依頼 ・苫小牧市教育研究会理科部会、苫小牧発明研究会、北海道新聞苫小牧支社、日本宇宙少年団、日本宇宙航空研究開発機構などの協力による展示会、教室等の開催 | 科学センター | E | | |
| | | | | 各種講座、講演会へ学芸員を派遣 | 美術博物館 | A | | |
| | | | | 民間団体が主催する男女平等参画に関わる講演会等の後援 | 協働・男女平等参画室 | A | | |
| | | | | 市民団体、NPOとの共催による講座、講演会、啓発事業等の実施 | 男女平等参画推進センター | B | | |
| | | | | 東地域ネットワーク懇談会（東地域包括支援センターの呼びかけで介護事業所や高齢者施設職員を中心にした懇談会）、社会福祉協議会、民生委員、町内会などが参加する地域食堂の開催 | 市民生活課 | F | | |
| | 学んだ経験や成果を生かす活動の奨励と推進 | 地域活性化や地域の学び、課題解決に向けた活動への支援 | 35 地域の学びや課題解決に関する生涯学習活動の充実と支援 | 自主事業にて（防災講座、持続可能な地域づくりのためのSDGs 展示講座等）を開講 ・自主事業 大量生産、大量消費、に係る映画「ザ・トゥルーコスト」上映会と懇談会の実施 ・生涯学習講座 「まちづくりサポーター養成講座～地域にこどもの居場所を作ろう」の開講とその後の受講生の自主的活動の支援 | 市民生活課 | E | 1. 継続 8人 2. 強化 1人 3. 弱体化 0人 | ・感染状況を見ながら実施の判断をお願いしたい。 ・オンラインセミナーは良いことですが、対面とオンラインを合わせて実施してはどうか（ハイブリッド型）。 |
| | | | | 美術博物館大学講座、出前講座、学芸員の派遣、資料の貸出 | 美術博物館 | E | | |
| | | | | 男女平等参画社会を目指した多様な分野における講座を企画・開催（LGBT、健康、地域防災、人材育成、女性の就業、DV防止等） | 男女平等参画推進センター | A | | |
| | | | | 男女平等参画に関する研修会等派遣事業 | 協働・男女平等参画室 | F | | |
| | | | | ・認知症サポーター養成講座の開催、読み聞かせボランティア連絡会 ・自主事業（ふまねつと参加者から地域の担い手となるサポーターへの推進） ・生涯学習講座 「まちづくりサポーター養成講座～地域にこどもの居場所を作ろう」の開講とその後の受講生の自主的活動の支援 | 市民生活課 | E・F | | |
| | | | | 障がい者とともに学ぶパソコンボランティア体験講習会（ボランティアの人材発掘と養成のために体験講習会を実施） | 生涯学習課 | F | | |
| 地域の学習支援に取り組むNPOやボランティアの学習機会の充実 | 36 | 学校図書館ボランティア、朗読ボランティアに対する研修 | 中央図書館 | E | 1. 継続 8人 2. 強化 1人 3. 弱体化 0人 | ・コロナ禍によりやむを得ないと考えます。 ・一部オンラインセミナーでの実施が可能と思われる。 | | |
| | | 親子教室指導者養成講座の実施 | 科学センター | C | | | | |
| | | 認知症サポーター養成講座の開催、読み聞かせボランティア連絡会 | 市民生活課 | F | | | | |
| | | 自主事業（ふまねつと参加者から地域の担い手となるサポーターへの推進） ふまねつと＝大きなマス目のあみを床に敷き、そこを踏まずに歩く運動 | 市民生活課 | F | | | | |

第五次苫小牧市生涯学習推進基本計画の検証結果について

【自己評価判断基準】(A) 達成している (B) 概ね達成している (C) 達成不十分 (D) 事業の見直しを要する (E) コロナのため事業規模縮小 (F) コロナのため事業中止 (教育委員会生涯学習課作成)

| 推進の重点 | 推進の方向 | 施策の展開 | 具体的な施策 | 実施事業（関連事業） ※令和2年度事業の評価 | 所管課 | 自己評価 | 社会教育委員評価 |
|------------------------------|----------------------|-----------------------------|--|--|-----------------------|---|--|
| 相互に理解し支え合い、自己の力を発揮できるつながりづくり | 学んだ経験や成果を生かす活動の奨励と推進 | 37 | 市内各地域の会場における学習機会の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域サロン(うたごえなど)の開催による生涯学習推進とまちづくりの支援 ・高校生との地域活性化事業の支援 ・SDGs 講座の開催 ・生涯学習講座「まちづくりサポーター養成講座～地域にこどもの居場所を作ろう」の開催とその後の受講生の自主的活動の支援 | 市民生活課 | A | 1. 継続 9人 2. 強化 0人 3. 弱体化 0人 ・今後も対策をしながら継続していただきたい。 |
| | | 38 | 学校・地域社会の連携強化に向けた取り組みの検討 | アーティストバンク、アウトリーチ事業（アーティストバンク登録者を学校などに派遣し、舞踊や書道、絵画、ダンスなどあらゆるジャンルに直接触れてもらう体験プログラム）による学校活用 | 生涯学習課 | A | 1. 継続 8人 2. 強化 1人 3. 弱体化 0人 ・是非内容を充実し今後も続けていただきたい。 |
| | | 39 | 地域社会と学校の連携事業の開催・支援 | 学社連携実践事例集の作成 | 生涯学習課 | A | 1. 継続 9人 2. 強化 0人 3. 弱体化 0人 ・是非内容を充実し今後も続けていただきたい。 |
| | | 40 | 学校支援ボランティア活動の支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館ボランティアへの研修実施 ・苫小牧読み聞かせ文庫活動連絡会等との情報共有 自主事業（放課後★くらぶ・自習スペースの開放）の開催、高校生との地域活性化事業開催サポート | 中央図書館 市民生活課 | E E | 1. 継続 8人 2. 強化 1人 3. 弱体化 0人 ・コロナ禍によりやむを得ないと考えます。 ・学校のクラブ活動の地域への移管を促すとりくみが必要になるのではないのでしょうか。 |
| | 41 | まちづくりへの参加促進と市民参画プログラム | 地域課題に即した学習プログラムの支援 | 市民による講座開催の支援、まちづくり講座の開催 | 市民生活課 | E | 1. 継続 8人 2. 強化 1人 3. 弱体化 0人 ・コロナ禍によりやむを得ないと考えます。 ・一部オンラインセミナーで実施可能と思われる。今後各施設にて「zoom」「You Tube」で講座を配信できる機材を設置してはどうか。 |
| | 42 | まちづくりや地域活動のボランティア養成の学習機会の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・PMF 苫小牧公演でのボランティア ・障がい者とともに学ぶパソコンボランティア体験講習会 ・苫小牧アートフェスティバルでのボランティア ボランティア養成講座（本の配架・整理・読み聞かせ等の図書館のサポートしてくれる方の養成）の開催 個人・団体ボランティアの活動受入 美術博物館登録ボランティア制度の充実 「美術館友の会」「苫小牧郷土文化研究会」との連携、支援 生涯学習ボランティア養成講座の実施 団体紹介・募集の支援、まちづくりサポーター養成講座の開催、SDGs ロビー展示の開催 | 生涯学習課 中央図書館 美術博物館 文化交流センター 市民生活課 | F A A F A | 1. 継続 7人 2. 強化 2人 3. 弱体化 0人 ・ボランティア養成講座はニーズがたくさんある内容にしぼり、さらなる充実をのぞみたい。 ・「生涯学習ボランティア講座」にて対面とオンラインを合わせて実施してはどうか（ハイブリッド型）。 | |
| | 43 | 学習成果を地域やまちづくりで活用する取り組みの支援 | 介護支援いきいきポイント事業 自主事業（フードバンクへの食品受け入れ） 生涯学習講座「まちづくりサポーター養成講座～地域にこどもの居場所を作ろう」の開催とその後の受講生の自主的活動の支援 | 介護福祉課 市民生活課 | A E | 1. 継続 9人 2. 強化 0人 3. 弱体化 0人 ・継続を望みます。 | |

第五次苫小牧市生涯学習推進基本計画の検証結果について

【自己評価判断基準】(A) 達成している (B) 概ね達成している (C) 達成不十分 (D) 事業の見直しを要する (E) コロナのため事業規模縮小 (F) コロナのため事業中止 (教育委員会生涯学習課作成)

| 推進の重点 | 推進の方向 | 施策の展開 | 具体的な施策 | 実施事業（関連事業） ※令和2年度事業の評価 | 所管課 | 自己評価 | 社会教育委員評価 |
|-----------------------------------|---|----------------------|---|--|--------------|------|--|
| 活力を育み、ふれあいや語らいが深まる学びの環境づくり | 学習情報の充実とデジタル端末に対応した情報発信の強化 | 生涯学習の啓発と生涯学習情報の収集と発信 | 44 生涯学習意識の醸成に向けた継続的な啓発 | 生涯学習だよりでの情報提供（4・9月全戸配付）、サークルガイドの発行（年1回）、市民文化芸術振興助成事業、P M F 演奏会・人形劇などの鑑賞事業、文化財発見ツアーの実施 | 生涯学習課 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習だより等、情報発信が充実しているのが高評価につながっているものと考えらる。 ・全般に亘って達成できたことは評価したい。 ・情報発信のオンライン化をいっそう進める必要があるでしょう。図書館などから、分野別の読書案内のようなものを発信できないでしょうか。 |
| | | | | ・国際交流サロンを活用し、日本語教室、外国語教室、グループトーク、ホストファミリー向け英会話教室などを実施 | 国際リポート戦略室 | A | |
| | | | | ・【新規】日本語講師養成講座オンライン開催 | 男女平等参画推進センター | A | |
| | | | | ・市HP、facebookに加え、LINEを活用し外国籍を含む幅広い市民への情報発信や相談対応 | 市民生活課 | A | |
| | | | | 社協だより、生涯学習だより、広報とまこまい、HP、携帯サイト、ポスター、チラシ、情報誌ふりむ、市フェイスブック等による講座・講演会開催等の情報提供 | こども育成課 | A | |
| | | | | ・ホームページやコミセン便りでの生涯学習講座の内容紹介、活動サークルの情報公開（サークル一覧表） | 美術博物館 | A | |
| | | | | ・他の公共施設などで開催している事業の紹介ポスター掲示、チラシの設置 | 文化交流センター | A | |
| | | | 子育て情報誌「のんき・こんき・げんき」（年4回発行）での情報提供 | | | | |
| | | | 美術博物館だより、特別展、企画展、展示学習、展示解説、観察会・見学会の案内での情報提供 | | | | |
| | | | アイビーサークルガイドの発行、催物情報の発行 | | | | |
| 45 魅力ある情報紙へのリニューアルの検討 | 生涯学習だよりのリニューアルの検討 | 生涯学習課 | B | <ul style="list-style-type: none"> ・今後も啓発をお願いしたい。 | | | |
| 46 デジタル端末環境に対応した情報発信の強化 | 市ホームページ、市facebook等で情報提供、施設独自のツイッターの立ち上げ | 各課・施設 | B | <ul style="list-style-type: none"> ・今後も啓発をお願いしたい。 ・情報発信のオンライン化をいっそう進める必要があるでしょう。図書館などから、分野別の読書案内のようなものを発信できないでしょうか。 ・「zoom」「YouTube」で講座配信できる機材を設置し、取扱い方（配信の仕方）を組み入れてはどうか。 | | | |
| | ①電子図書館サービスの提供（利用登録をして電子図書の貸出ができるサービス） ②デジタルコンテンツの無償配信サービスの提供（TRC図書館流通センターで運営している地方資料等のデジタル閲覧サービス） ③館内無線LAN環境の整備、情報サロン機器の運用（館内での無料Wi-Fi利用、情報サロン内にPCやiPad等を設置しインターネット閲覧による情報取得を援助） ④ICT活用講座の実施（初心者にもわかりやすく情報通信技術を活用してもらうよう講座を企画） | 中央図書館 | B | | | | |
| | 紙媒体、ホームページ、ブログ、市フェイスブックなどを利用した講座・講演会等の情報提供 | 男女平等参画推進センター | A | | | | |
| 施設単独のHPの開設、コミセン4館トップ画面からのHP移動での閲覧 | 市民生活課 | A | | | | | |
| 47 生涯学習指導者や団体等の情報収集と発信の強化 | アーティストバンクへの登録、アウトリーチ事業 | 生涯学習課 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・すばらしい取り組みがなされていると考えます。 | | | |
| | 生涯学習だより、サークルガイドでの情報提供 | 美術博物館 | A | | | | |
| | 美術博物館だより、各展示会等の案内を通じ情報提供 | 市民生活課 | A | | | | |
| ・新規講座、自主事業の講師を発掘（地域の方への情報収集）と活用 | | | | | | | |
| ・ポスター、チラシによる情報収集と情報提供・他施設の事業からの紹介 | | | | | | | |

第五次苫小牧市生涯学習推進基本計画の検証結果について

【自己評価判断基準】(A) 達成している (B) 概ね達成している (C) 達成不十分 (D) 事業の見直しを要する (E) コロナのため事業規模縮小 (F) コロナのため事業中止 (教育委員会生涯学習課作成)

| 推進の重点 | 推進の方向 | 施策の展開 | 具体的な施策 | 実施事業（関連事業） ※令和2年度事業の評価 | 所管課 | 自己評価 | 社会教育委員評価 | | |
|----------------------------|------------------------|--|--------------|-------------------------------|--|---|----------|-----------------------------------|--|
| 活力を育み、ふれあいや語らいが深まる学びの環境づくり | デジタル情報発信の強化 | 学習情報の充実 | 48 | 生涯学習関連団体の情報の共有化とネットワークの充実 | 苫小牧アートフェスティバル事業等でのネットワーク、生涯学習だより等の掲載事業等での情報共有などの充実 | 生涯学習課 | A | 1. 継続 9人 2. 強化 0人 3. 弱体化 0人 | ・すばらしい取り組みがなされていると考えます。 |
| | | | 49 | 利便性の向上に向けた情報発信の検討 | 情報の一元化などの取組検討、総合的な生涯学習の相談受付 | 生涯学習課 | B | | |
| | 生涯学習関連施設の活性化と高等教育機関の連携 | 生涯学習関連施設機能の活性化と相談体制の充実 | 50 | 時代の変化や市民ニーズを把握した生涯学習施設の運営と活性化 | 登録団体に対する自主学習の場の提供 | 中央図書館 | A | 1. 継続 7人 2. 強化 2人 3. 弱体化 0人 | ・科学センターにおける行事は子ども達が楽しみにしているので、今後も工夫しながら実施をお願いしたい。 ・全事業に託児を設けた事は評価したい。各スポーツ教室講座が規模縮小となったのは残念。 ・「zoom」「YouTube」で講座を配信できる機材を設置してはどうか。 |
| | | | | | 各スポーツ施設の各種スポーツ教室・講座 | スポーツ都市推進課 | E | | |
| | | | | | 子育て支援センター、子育てルーム、保育園で電話などによる育児相談実施 | こども育成課 | B | | |
| | | | | | ・実験室・工作室を利用した教室の実施 ・プラネタリウム・天文台を利用した天体観測及び解説（星空観望会） ・展示物を利用した宇宙開発技術や科学技術の解説（ミールガイドツアー） | 科学センター | E | | |
| | | | | | ①舞台づくり相談会（通年）、②母の日花アレンジメント教室、③地域連携事業「幼稚園児と花壇づくり」、④ホール ピアノ練習会、⑤ホール 夏休みピアノ無料練習会、⑥施設利用者サークル展示会、⑦市民還元コンサート、⑧親子陶芸教室、⑨ホール練習セットプラン、⑩文化会館探検ツアー、⑪苫小牧演劇を志す人のためのワークショップ ⑫利用者懇談会 | 文化会館 | A | | |
| | | | | | 充実した設備の料理実習室や無料託児を行うプレイルーム（託児室）等の積極活用により、幅広い分野における講座の実施と年齢幅を拡充し全事業に託児を実施（起業相談・起業セミナーなど） | 男女平等参画推進センター | A | | |
| | | | | | 展示解説、出前講座、教員のための博物館の日 | 美術博物館 | E | | |
| | | | | | 施設内部屋・設備備品の特徴を生かした（工芸室・料理室・集会室・音響等）生涯学習講座・自主事業の開催 | 市民生活課 | A | | |
| 51 | 生涯学習関連施設の利用向上に向けた取組の検討 | 学校開放（文化・スポーツ）事業 | 生涯学習課 | F | 1. 継続 9人 2. 強化 0人 3. 弱体化 0人 | ・学校開放事業は感染状況によって実施できなくなることはやむを得ないと考えます。 | | | |
| | | 活動団体への自主学習の場の提供、ご意見箱・利用者アンケート等を通じた運営参画意識の醸成と取組の検討 | 中央図書館 | A | | | | | |
| | | 観光案内所、観光協会等との連携による観光客の誘致 | 科学センター | A | | | | | |
| | | ・男女平等参画社会や女性の活躍推進を目指し、各種講座・講演会・啓発事業・サークル活動・交流事業・相談事業・情報収集と提供等の実施 ・市民ニーズを把握し、積極的に自主事業を実施 | 男女平等参画推進センター | A | | | | | |
| | | 生涯学習・自主事業・懇談会の開催による活用 | 市民生活課 | A | | | | | |

第五次苫小牧市生涯学習推進基本計画の検証結果について

【自己評価判断基準】(A) 達成している (B) 概ね達成している (C) 達成不十分 (D) 事業の見直しを要する (E) コロナのため事業規模縮小 (F) コロナのため事業中止 (教育委員会生涯学習課作成)

| 推進の重点 | 推進の方向 | 施策の展開 | 具体的な施策 | 実施事業（関連事業） ※令和2年度事業の評価 | 所管課 | 自己評価 | 社会教育委員評価 | | |
|----------------------------|------------------------|------------------------|-----------------|--|---|----------|-----------------------------------|--|---|
| 活力を育み、ふれあいや語らいが深まる学びの環境づくり | 生涯学習関連施設の活性化と高等教育機関の連携 | 生涯学習関連施設機能の活性化と相談体制の充実 | 52 相談体制と指導体制の充実 | カウンターでのレファレンスサービス充実 | 中央図書館 | E | 1. 継続 9人 2. 強化 0人 3. 弱体化 0人 | ・状況に応じて工夫しながら実施していただきたい。 ・法律相談はコロナ禍でも継続実施されているようですが実績も教えて欲しい。 | |
| | | | | 指導員を配置し、ミールの解説や天文・理科に関する相談に対応 | 科学センター | E | | | |
| | | | | 学芸員による相談対応 | 美術博物館 | A | | | |
| | | | | 定例的に弁護士による法律相談やキャリアコンサルタントによる女性の働き方相談、総合労働相談員によるハラスメント相談、起業支援コンシェルジュによる女性のための起業相談を実施 | 男女平等参画推進センター | B | | | |
| | | 施設職員のスキルアップに向けた研修体制の充実 | 53 | 職員の外部研修派遣 | 職員の外部研修派遣 | 中央図書館 | E | 1. 継続 9人 2. 強化 0人 3. 弱体化 0人 | ・状況に応じて工夫しながら実施していただきたい。 ・提供側の内容にもよるが経費が少なくなった分多くのWeb研修を利用してもらいたい。 |
| | | | | | 職員の派遣研修 | 科学センター | E | | |
| | | | | | 接遇講座・大学との連携による勉強会の開催、職員対象研修会の実施や勉強会への参加呼びかけ | 市民生活課 | A | | |
| | | 高等教育機関の市民向け講座の周知強化 | 54 | 高等教育機関の市民向け講座の周知強化 | 生涯学習だよりでの情報提供 | 生涯学習課 | A | 1. 継続 8人 2. 強化 1人 3. 弱体化 0人 | ・状況に応じて工夫しながら実施していただきたい。 ・オンラインでの提供 |
| | | | | | 美術博物館だよりでの情報提供、学芸員相談対応 | 美術博物館 | A | | |
| | | 高等教育機関との連携講座の充実 | 55 | 高等教育機関との連携講座の充実 | 「苫小牧科学の会」などとの連携、「青少年のための科学の祭典」への協力 | 科学センター | F | 1. 継続 9人 2. 強化 0人 3. 弱体化 0人 | ・状況に応じて工夫しながら実施していただきたい。 |
| | | | | | 他施設へ資料の貸出 | 美術博物館 | A | | |
| | | | | | 駒澤（現北洋）大学連携講座、長生大学市民公開講座、道民カレッジ大学インターネット講座の開催 | 文化交流センター | A | | |
| 子ども講座定期開催の協力(苫小牧高専、南高校) | 市民生活課 | | | | A | | | | |